



黒川中だより

第 10 号

令和 8 年 3 月 24 日発行

<https://tainai-kurokawa-jhs.edumap.jp/>

TEL 0254-47-2425



教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

「憧れるのをやめましょう」

校長 村田 健

3月6日「第47回卒業証書授与式」が挙行され、厳かな雰囲気の中、23名の卒業生を送り出すことができました。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。また、ご多用の中、式に参列いただきました、ご来賓の皆様ありがとうございます。地域の皆様からは、多大なるご支援、ご協力をいただきましたことに感謝いたします。そして、中条ロータリークラブ様からバルーンアートの制作をしていただきました。思い出に残る演出をありがとうございました。

卒業式の翌週、1・2年生合同学年朝会が行われていました。少し覗きに行くと、3年生の先生方が1・2年生へ、教室の飾り付けや体育館の準備等をしていただいたお礼の言葉を話していました。3年生にとって卒業式は、とても重要な行事です。しかし、良い卒業式にするには、3年生だけでなく、全校で取り組まなければ成功しません。今回、感動的な卒業式だったと、参加された方々に思っていました。そこには、3年生だけの力ではなく、1・2年生の心のこもった準備活動があったからです。

では、なぜ1・2年生が自分の卒業式でもないのに、あれだけ一生懸命準備活動ができたのでしょうか。準備活動をしっかりやらないと先生が怒るから？昭和の時代にはあったかもしれません。今は令和の時代、そしてここは黒川中学校です。生徒自ら準備活動を一生懸命するのは、先輩を慕っているからです。昼休みの体育館は、学年関係なく遊ぶ優しさがあります。行事では、3年生の堂々とした姿には貫禄があります。その姿を見て1・2年生は3年生を心からリスペクトしています。ですから嘘のない行動ができるのです。

さて、今年WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が開催されました。地上波での放送がなく、私はじっくり見ることができず残念でした。やはり、野球のテレビ観戦には、テーブル上に瓶ビールが定番だと思っています。話が横道に逸れてしまいましたが、前回2023年のWBCは接戦の決勝戦を制し、3度目の優勝を果たしました。その決勝戦前、「声だし」の儀式!?がメディアで多く取り上げられました。「声だし」とは、試合前に選手の一体感や気持ちを鼓舞するために行われます。その「声だし」をしたのが、日本には彼を知らない人はいないのではないかと思えるほど有名な「大谷翔平選手」です。決勝戦の相手はアメリカチームで、メジャーリーグで活躍する選手ばかりです。プロ野球選手でもサインをお願いしたくなる選手ばかりのチームを相手に「憧れるのをやめましょう」と大谷選手は言い切りました。「やっぱ憧れてしまったらね、超えられないんで。僕ら、今日超えるために、トップになるために来たんで。」と続けます。並みいるメジャーリーガーを相手に5年間戦ってきた大谷選手にとって、日本チームが本気で戦えば、勝てる自信があったから言えたのではないのでしょうか。そんな大谷選手が言ったからこそ、価値のある言葉であり、真実味のある言葉となって選手の気持ちにしみわたり、試合が終わるまで消えなかったのでしょうか。

そして、私なりの解釈ですが、「憧れるのをやめましょう」は、自分達が「憧れる存在になりましょう」と言いたかったのではないのでしょうか。大谷選手はその後も活躍を続け、野球に関係する人だけでなく、すべての人から憧れる存在になっています。

1・2年生の皆さん、卒業した3年生はとても立派でしたね。だからこそ、しばらくの間「憧れるのをやめましょう」。みなさんが新しい黒川中学校を築くまでは。そして、1年後「憧れる存在になりましょう」

第47回 卒業証書授与式

3月6日（金）、18名のご来賓をお迎えして、第47回卒業証書授与式が行われました。

この学年は23名と人数は多くありませんが、とても元気で活発であり、体育祭や音楽発表会では団結した力を存分に発揮して下級生をリードしました。最高学年としての責任を立派に果たした学年です。

当日、卒業生は、様々な困難を乗り越え、たくましく立派に成長した姿を見せてくれました。所作や呼名への返事、感動的な代表生徒による答辞、卒業記念合唱をとおして、参会した全ての方々に感謝の思いを伝えました。感動的な素晴らしい卒業式になりました。



卒業証書授与



卒業生代表 答辞



卒業記念合唱



卒業記念フォトスタジオ

同窓会入会式

3月5日(木)、47回生の同窓会入会式が行われました。会則の説明や代表幹事及び地区幹事が紹介されました。今後は歴代の先輩方と共に黒川中学校や後輩を支援願います。



代表幹事 小野 想介さん(上町)

地区幹事

黒川地区 桐生 紗良さん(西町)

鼓岡地区 渡邊 響さん(夏井)

大長谷地区

在住生徒なし



2年生修学旅行(東京都、千葉県、埼玉県、群馬県)

2年生は2月24日(火)～26日(木)までの3日間、修学旅行に行きました。

1日目は、貸切バスで池袋に到着後、班ごとに班別自主研修を実施しました。事前には各班で見学地を調査・選定し臨みました。スタート時から、改札口を探して地図を見たり、近くにいる人に尋ねたりする姿が見られ不安な立ち上がり。しかし、どの班も協力して見学地を訪れ、学びを深めることができました。

2日目は、東京ディズニーランドに行きました。生憎の雨でしたが、悪天候などものともせず、自分たちの目的地に突き進むたくましい姿や素敵な笑顔があふれる1日でした。

3日目は、川越と伊香保で現地研修を実施しました。川越は江戸時代から栄え、小江戸として知られています。ガイドさんから蔵造りの街並みや時の鐘など、歴史的建造物の見どころの説明を受けました。伊香保では「如心の里 ひびき野」の女将様より、伊香保温泉の歴史や地元の中学生とパンフレットを制作した取組などについて講演をいただきました。地域を盛り上げるために若い世代と一緒に取り組む様子が伝わり、黒川も中学生の力で盛り上げたいと感じました。



バスツアー開始



班別自主研修



前日事故のため東京スカイツリーには行けず…



東京ディズニーランド



「小江戸」川越研修



伊香保研修

公立高等学校入学者選抜の変更について

新潟県教育委員会は令和7年3月に、新しい「県立高校の将来構想」を策定し、公表いたしました。これは、想定を上回る少子高齢化の進行に加え、GIGAスクール構想の推進に伴うICT環境の整備や、広域通信制高校への進学者増加などにみられる生徒の学習ニーズの多様化など、県立高校を取り巻く環境が大きく変化していることから、時代に即した学校づくりの方向性を示すためです。

その後、令和8年3月に発表された内容をまとめると、来年度（現2年生が受検）は以下のとおりとなります。なお、詳細につきましては、新潟県教育委員会のホームページをご確認ください。

- ・「特色化選抜」の廃止
- ・一般選抜は、「一般枠」「学校設定枠」の2つの募集枠を設定
- ・入試日程が早まり、一般選抜（一般枠・学校設定枠）の本検査1日目が令和9年2月25日（木）

<p>令和9年度新潟県公立高等学校入学者選抜の概要について（簡易説明版）</p>  <p>https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/483304.pdf</p>	<p>令和9年度新潟県公立高等学校入学者選抜の概要について</p>  <p>https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/482472.pdf</p>
<p>令和9年度新潟県公立高等学校入学者選抜以降の選抜日程について</p>  <p>https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/463055.pdf</p>	<p>令和9年度新潟県公立高等学校 学校・学科ごとの募集人数と選抜方法等</p>  <p>https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/482468.pdf</p>

黒中生の活躍

〈市民インドアソフトテニス大会〉

中学男子の部 2位 本間樹・緒形吏喜ペア 3位榎本航・諏訪創軌ペア
 中学女子の部 3位 高橋このん・高橋凜音ペア

4月の主な予定

<p>7日（火）新任式 始業式 交通安全指導（～10日） 8日（水）入学式 給食開始 9日（木）交通安全教室 PTA役員会 10日（金）生徒会入会式 発育測定 部活動体験（～16日） 15日（水）生徒会専門委員会 NRT（標準学力検査 1日目） 認知能力検査（2年生） 16日（木）心臓検診（1年生） NRT（標準学力検査 2日目）</p>	<p>17日（金）部活動集会 18日（土）シャングシャング馬見学（午前） 授業参観（5限） PTA総会 部活動保護者会 ※ 弁当持参 20日（月）振替休業日 21日（火）全国学力・学習状況調査（3年生） 23日（木）全国学力・学習状況調査（3年生） 第1回学校運営協議会 24日（金）内科検診 27日（月）諸経費振替日 30日（木）全校朝会</p>
--	--